

ニュース&トピックス

夏場の病害発生防除を喚起 白神みょうが目揃会



▲ みょうがの生育状況を確認する参加者

J Aあきた白神みょうが部会（工藤寿部会長）は7月26日、能代市工業団地交流会館でみょうが目揃会を開き、生育状況や出荷規格などを確認しました。

目揃会には生産者やJ A、市場関係者を含めて約80名が参加。はじめに工藤部会長が「昨年の根茎腐敗病の被害を教訓に、行政などと共に防除の徹底を実施してきた。市場に高品質みょうがを提供して、信頼回復に努めていきたい」と話しました。また市場関係者から、3月の震災後のみょうが販売状況などが説明されたほか、J A担当者から生育状況が報告され、参加者は収穫最盛期に向けて気を引き締め直していました。

お盆の最需要期に向け りんどう目揃会を開催



▲ 生育状況や出荷規格を確認する生産者

あきた白神りんどう生産組合（菊地昇一組合長）は7月14日、収穫・出荷の最盛期に備え、りんどう目揃会を藤里地区集出荷所で開催しました。

目揃会には生産者6名とJ A、行政担当者や市場関係者などが参加。生育状況の説明が行われたほか、J A担当者から出荷規格についての、周知徹底がなされました。

現在、あきた白神りんどう生産組合では、合計1.3haの面積でりんどうを栽培し、今年は約17万8千本の収穫を予定しています。

菊地組合長は「りんどうが地区の特産品となるよう、栽培技術の向上と、生産者の増加を図っていきたい。」と意気込みを語ってくれました。

会員同士の親睦と交流を深める 年金友の会支部総会



▲ 楽しいアトラクションに笑みがこぼれる

J Aあきた白神年金友の会支部総会が、管内の各地区にて開催され、平成22年度事業報告や平成23年度事業計画などを協議し、原案通り承認されました。

このうち7月26日に行われた常盤支部総会では、たくさんの会員が参加。協議終了後の懇親会では、アトラクションを通して、会員らが親睦を深めました。

現在、J Aあきた白神年金友の会の会員数は4166名。毎年7月にグラウンドゴルフ大会の開催や、9月には親睦旅行を実施して、会員の方々への感謝を表すとともに、会員同士の交流を図っております。

各チームの意地がぶつかり合う J A共済学童野球



▲ 選手宣誓を行う丹波樹希くん

J Aあきた白神とJ A共済連秋田が主催する、第9回J A共済学童野球大会地区予選が、7月30日に二ツ井球場で開催されました。

大会には管内4校の小学校が参加。はじめに金融共済事業本部の小林義昌常務理事が「日頃の練習の成果を発揮して、元気に全力でプレーしてください」と激励。試合では各チームが熱戦を繰り広げ、決勝戦では前年優勝の向能代ファイターズを、常盤ミラクルファイターズが逆転に次ぐ逆転で破り、見事優勝を果たしました。9月17日に行われる全県大会へ出場する常盤ミラクルファイターズは、一致団結して上位進出を目指します。

